

第5回 みえ国際展開推進連合協議会 議事次第

日時：令和元年7月22日（月）10:30～正午

場所：三重県庁本庁舎3階 プレゼンテーションルーム

1 開会あいさつ

2 議題

(1) 「みえ国際展開に関する基本方針」取組状況

(2) 意見交換

【議題】今後（5年後程度）のオール三重での国際展開に関する提案

（ご意見いただきたいポイント）

- ・ TPP や日 EU・EPA 等の自由貿易圏拡大をふまえた、県内中小企業の国際展開の方向性について
- ・ 高度外国人材等の活用について
- ・ 東京オリパラや大阪・関西万博等の国際イベント開催を見据えた、外国人旅行者の誘客や県産農林水産物・食品の販路拡大等について

資料：

別紙1 「みえ国際展開推進連合協議会」出席者名簿

別紙2-1 「みえ国際展開に関する基本方針」改訂（H30.3）後の主な取組状況

別紙2-2 平成30年度の知事の海外トップセールス等の概要

別紙2-3 三重県の国際展開に関する主な指標

別紙3 新たな多文化共生社会づくりに向けた総合的な取組

別紙4 三重県外国人起業活動促進事業 ～新たな在留資格を活用した留学生起業支援～

別紙5 三重県の国際展開推進体制

別紙6 「みえ国際展開に関する基本方針」概要

「みえ国際展開推進連合協議会」出席者名簿

(敬称略、協議会ごとで氏名の五十音順)

番号	役職	氏名	所属団体等		構成協議会
			名称	役職	
1	会長	鈴木 英敬	三重県	知事	
2	委員	岡村 昌和	公益財団法人三重県産業支援センター	理事長	企業
3	委員	岡本 直之	三重県商工会議所連合会	会長	企業
	(代理)	吉仲 繁樹	同上	専務理事	
4	委員	小倉 敏秀	三重県経営者協会 公益社団法人三重県観光連盟	会長 会長	企業 外客
5	委員	坂下 啓登	三重県商工会連合会	会長	企業
6	委員	佐久間 裕之	三重県中小企業団体中央会	会長	企業
7	委員	中澤 康哉	三重県信用金庫協会	会長	企業
	(代理)	鈴木 信生	同上	常勤理事	
8	委員	服部 一彌	三重県中小企業家同友会	相談役理事	企業
9	委員	田山 雅敏	三重県薬事工業会	名誉会長	医療
10	委員	松浦 信男	三重県薬事工業会	会長	医療
11	委員	中野 眞司	全国農業協同組合連合会三重県本部	本部長	農林
12	委員	野地 洋正	三重県木材組合連合会	会長	農林
	(代理)	深田 透	同上	専務理事	
13	委員	柴原 昇	三重県外国人観光客誘致促進協議会 WTM(Welcome To Mie)委員会	委員長	外客

注) 企業：三重県企業国際展開推進協議会 医療：みえ医療・健康・福祉産業国際交流推進会議
 農林：三重県農林水産物・食品輸出促進協議会 外客：三重県外国人観光客誘致促進協議会

オブザーバー	鳴瀬 陽	グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会	中部経済産業局地域経済部 国際課 課長
オブザーバー	藤原 妙子	独立行政法人日本貿易振興機構三重貿易情報センター	所長

「みえ国際展開に関する基本方針」改訂（H30.3）後の主な取組状況

アジア経済圏

【台湾】

- ・教育旅行の誘致、FIT 誘客キャンペーン、伊賀牛の輸出、三重県フェア開催、現地見本市「Food Taipei」出展
- ・現地高級スーパーとの「地域資源の活用に関する協定」締結
- ・交流のすそ野拡大（猫空(マオコ)ロープウェイ×御在所ロープウェイ、台湾貿易センター×三重県商工会議所連合会、台湾ソフトボール協会×熊野市等）

【香港】

- ・香港貿易発展局経済ミッション団との企業商談会開催
- ・現地見本市「Food Expo」出展（※三重県商工会連合会としての出展）

アセアン

【タイ】

- ・タイ副首相来県を契機とした「三重タイ イノベーションセンター」開設
- ・現地見本市「Thaifex」出展、カンキツの輸出拡大と検疫緩和の働きかけ

【シンガポール】

- ・活カキ輸出の開始
- ・ソウルオブジャパン社の県内進出

北米・ヨーロッパ

【北米】

- ・事前キャンプ地誘致（カナダ体操、アーティスティックスイミング、レスリング）
- ・航空ミッションの派遣（米国、カナダ）

【英国】

- ・事前キャンプ地誘致（パラリンピック競泳）
- ・ロイヤルフリーホスピタルでの看護研修

【フランス】

- ・日本酒を中心とした日本飲料交流イベント「サロン・デュ・サケ」参加

【スペイン】（※今年度海外ミッション候補先、分野：産業、食等）

- ・ゲスタンプ社の県内進出、バスク自治州との覚書締結

横断的な取組等

- ・VisitMie キャンペーンの展開
- ・日本ゴルフツーリズムコンベンションの開催
- ・日 ASEAN 次官級交通政策会合の開催
- ・三重県企業国際展開支援窓口に物流2社が参画

平成 30 年度の知事の海外トップセールス等の概要

1 知事のタイ・シンガポール訪問

平成 30 年 11 月 14 日（水）から 11 月 16 日（金）にかけて、製造業や観光業をはじめとする県内事業者や大学とともに、80 名を超える経済交流ミッション団を組織し、タイ（バンコク都）とシンガポールを訪問しました。

5 回目となるタイへの訪問では、タイとの産業連携の拠点となる「三重タイ イノベーションセンター」の開所式に出席したほか、食の販路開拓、観光誘客促進に係るトップセールスを行いました。

また、初訪問となったシンガポールでは、^{かつ}活カキ輸出に必要な三重県の衛生管理プログラムが承認されたことを伝えられました。

(1) 三重タイ イノベーションセンター開所式

平成 30 年 7 月にタイのソムキット副首相が三重県を訪問した際に提案のあった「三重タイ イノベーションセンター」の開所式に出席しました。

同センターはタイ国家食品研究所に設置され、食品産業に関してタイと三重県との今後の連携の拠点となるものです。開所式にはソムキット副首相も出席し、「三重県のポテンシャルの高さを感じており、食品加工のノウハウが不足するタイで、センターが重要な役割を果たすことを期待している」との発言がありました。

今後、同センターを活用して、三重の食品加工技術の PR や、食品加工にかかる人材育成に取り組むことで、タイ産業の高度化に寄与するとともに、県内事業者のビジネス拡大につなげていきます。

(2) 食の販路開拓及び観光誘客促進に係るトップセールス

タイ農業・協同組合担当大臣と面談し、みかんをタイへ輸出する際の検疫条件緩和について要望し、同大臣からは「日・タイ合同輸出検査の緩和については前向きに検討しており、引き続き協議を進めたい。」との発言がありました。

また、三重県産みかんを取り扱っているモールグループを訪問し、さらなる取扱量の拡大を要請しました。高級日本食ダイニング「本物すし」やタイ全土にコーヒーショップを展開する PTTOR 社においては、県産品の魅力を PR するなどトップセールスに取り組みました。

観光面では、中部国際空港利用促進協議会が主催する中部地域観光セミナー・商談会の場において、現地旅行社等 42 社に対して観光 PR を行うとともに、タイ国際航空及びタイ・エアアジア X への訪問では、三重県の観光コンテンツを紹介するなどトップセールスを実施しました。

(3) ^{かつ}活カキ輸出の解禁に向けた要望活動

シンガポールの食品輸入規制を統括する農食品・^{かつ}獣医療を訪問したところ、^{かつ}活カキ輸出へ向け協議を続けてきた「三重県シンガポール向けカキ衛生管理プログラム」が、

承認に至ったことを副長官から伝えられました。

日本から初となるシンガポールへの^{かつ}活カキ輸出が可能となったことに謝意を伝えるとともに、輸出に必要な衛生証明書の手続きが早期に決定されるよう、引き続き政府間協議をお願いしました。

また、輸出解禁後の^{かつ}県産活カキの速やかな販売につながるよう、卸売業者やレストランを対象としたプロモーションを行いました。



三重タイ イノベーションセンター開所式
鈴木知事の右がソムキット副首相



タイ農業・協同組合担当大臣との
面談



中部地域観光セミナーにおける
観光PR



シンガポール農食品・獣医庁との面談
右がヤップ副長官

2 知事の台湾訪問

平成 31 年 3 月 9 日から翌 10 日にかけて、熊野市長及び三重県商工会議所連合会とともに台湾を訪問しました。(知事の台湾訪問は 7 回目)

(1) 三重県フェアの開催

「日台観光サミット in 三重」開催から 5 周年という節目を迎えた今回の訪問では、昨年 12 月にオープンした「三井アウトレットパーク台中港」で観光展を行うとともに台中市内の高級スーパー「裕毛屋」^{ゆうもうや}において物産展を開催しました。伊賀忍者のコーナーや三重の桜を展示したコーナーが盛況だったほか、多くの現地メディアの方々にも取材をいただきました。

(2) 陳菊^{ちんきく} 総統府秘書長及び范巽綠^{はんそんろく} 教育部政務次長との面談

陳菊 総統府秘書長（日本の官房長官に相当）及び范巽綠 教育部政務次長（日本の文部科学省副大臣に相当）と面談し、教育旅行やスポーツ交流に関する意見交換を行いました。

(3) その他

昨年9月に三重県商工会議所連合会との間で覚書を締結した台湾貿易センター（日本のジェトロに相当）を訪問し、三重県の産業の優位性等をPRしました。

また、東京オリンピック・パラリンピックで台湾を相手方とするホストタウンに登録されている熊野市と、台湾ソフトボール協会による協定書署名式に立ち会いました。



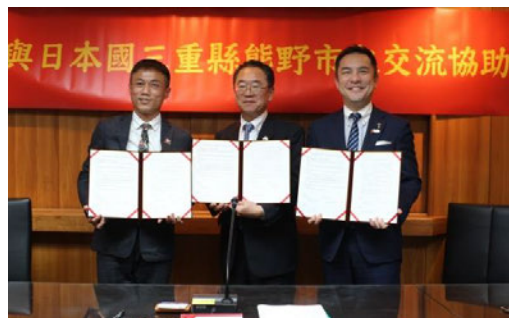
三井アウトレットパーク台中港での観光PR



裕毛屋での物産展



陳菊総統府秘書長との面談



台湾ソフトボール協会訪問

3 スペイン・バスク自治州との産業連携に関する覚書の締結

平成30年10月24日、スペイン・バスク自治州と産業連携に関する覚書を県庁において締結しました。この覚書は、バスク自治州に生産拠点をもち自動車部品メーカー「ゲスタンプ社」が松阪市に立地したことを契機に自動車や食の分野で連携していくことを定めたもので、同州から提案があったものです。

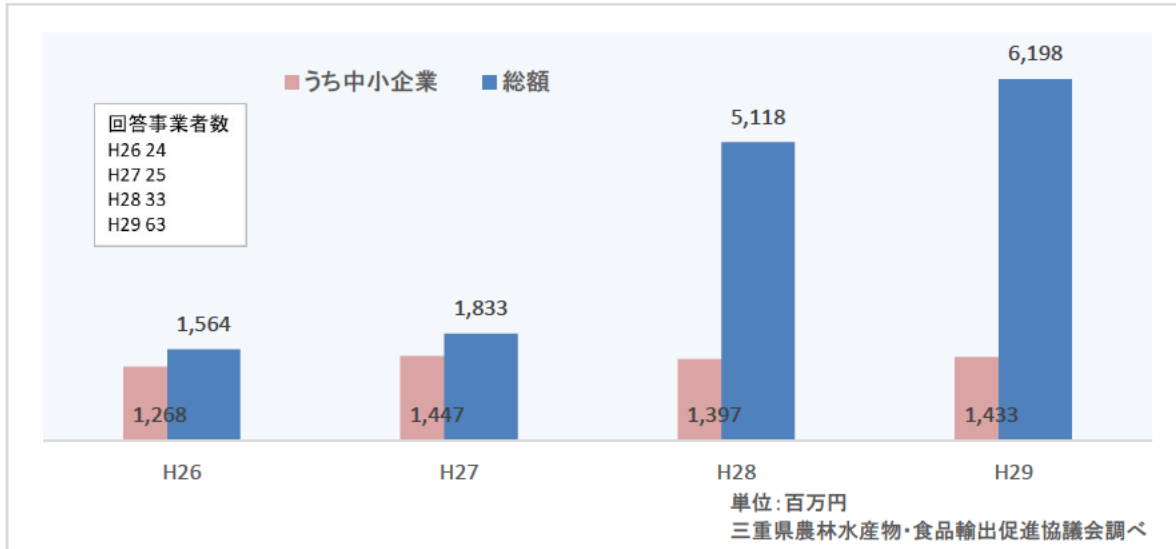
覚書の締結式には、バスク自治州政府経済開発インフラ大臣が出席し、覚書に署名したほか、立会人として、ゲスタンプ社が立地する松阪市の竹上市長、志摩スペイン村や食の分野を通じたバスク自治州との交流を希望されている志摩市の竹内市長、バスク自治州にあるサンセバステティアン市と「美食を通じた友好の証」を締結している多気町の久保町長も同席しました。

今後、これらの市町とも協議しながら、バスク自治州との具体的な連携方策を検討するとともに相互の交流を推進していきます。

三重県の国際展開に関する主な指標

1 県産農林水産物・食品の輸出

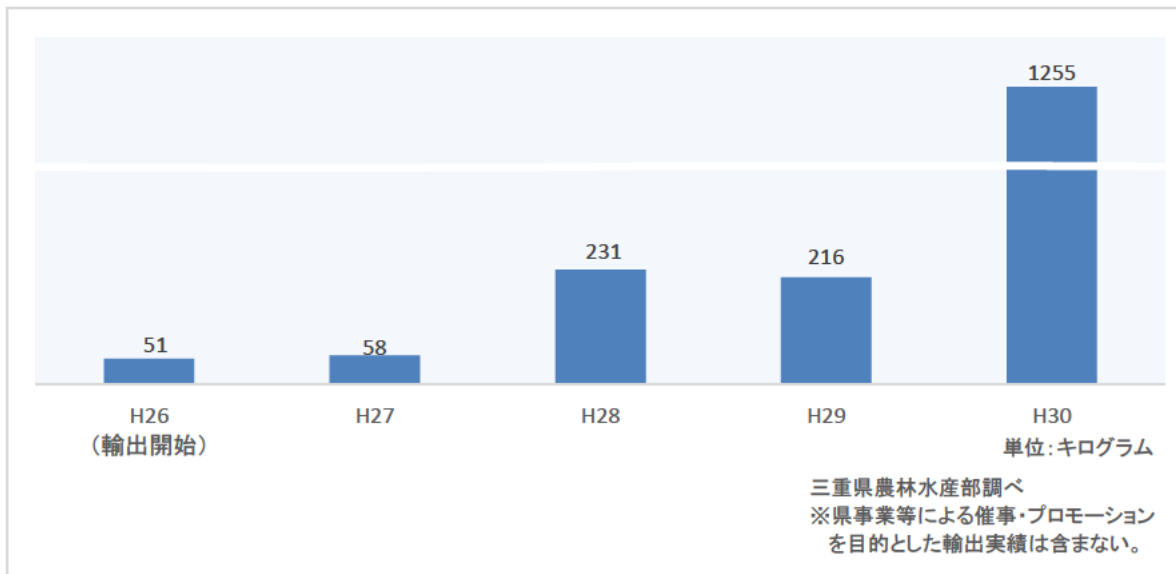
(1) 三重県農林水産物・輸出促進協議会による輸出額の推移



三重県農林水産物・食品輸出協議会

- ・発 足：平成 26 年 3 月
- ・会員数：H26 (32 社)、H27 (54 社)、H28 (72 社)、H29 (82 社)、H30 (97 社)
(※H26 は発足時、H27 以降は毎年 5 月の総会開催時点の会員数)
- ・部 会：農産部会、畜産部会、林産部会、水産部会、食品部会

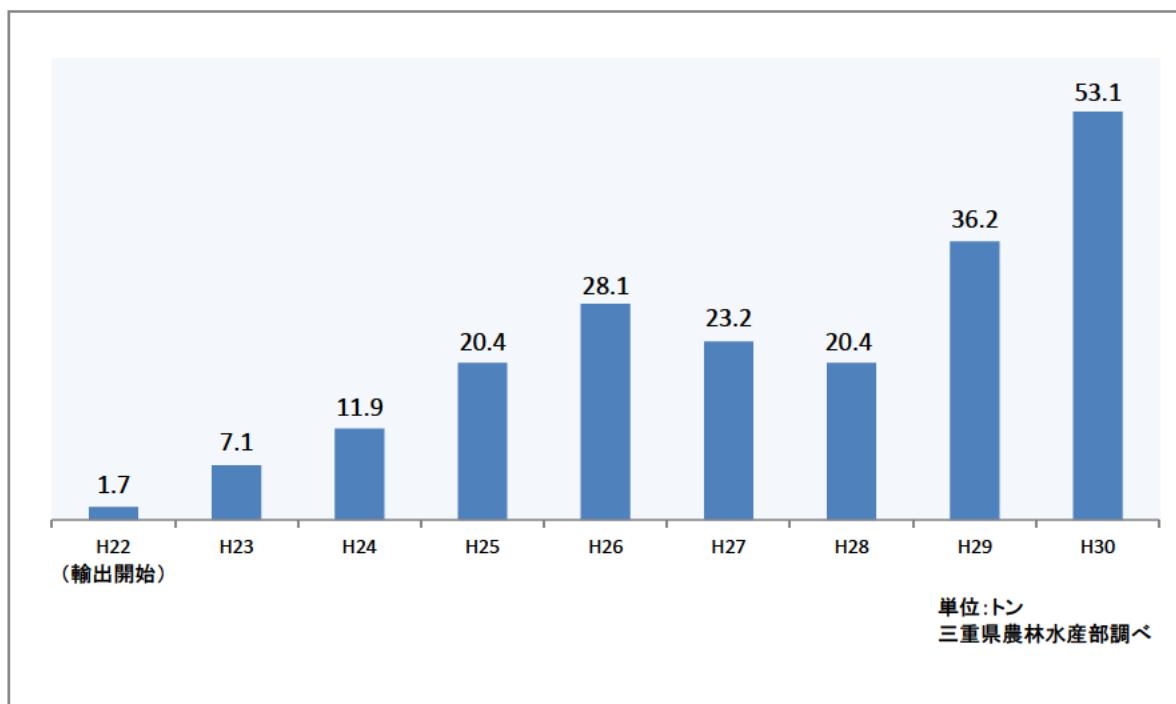
(2) ブランド和牛の輸出量の推移 (商業輸出ベース)



輸出先 (H26 以降、輸出量順) :

香港 (H27~)、米国 (H26~)、タイ (H30)、ベトナム (H29~)

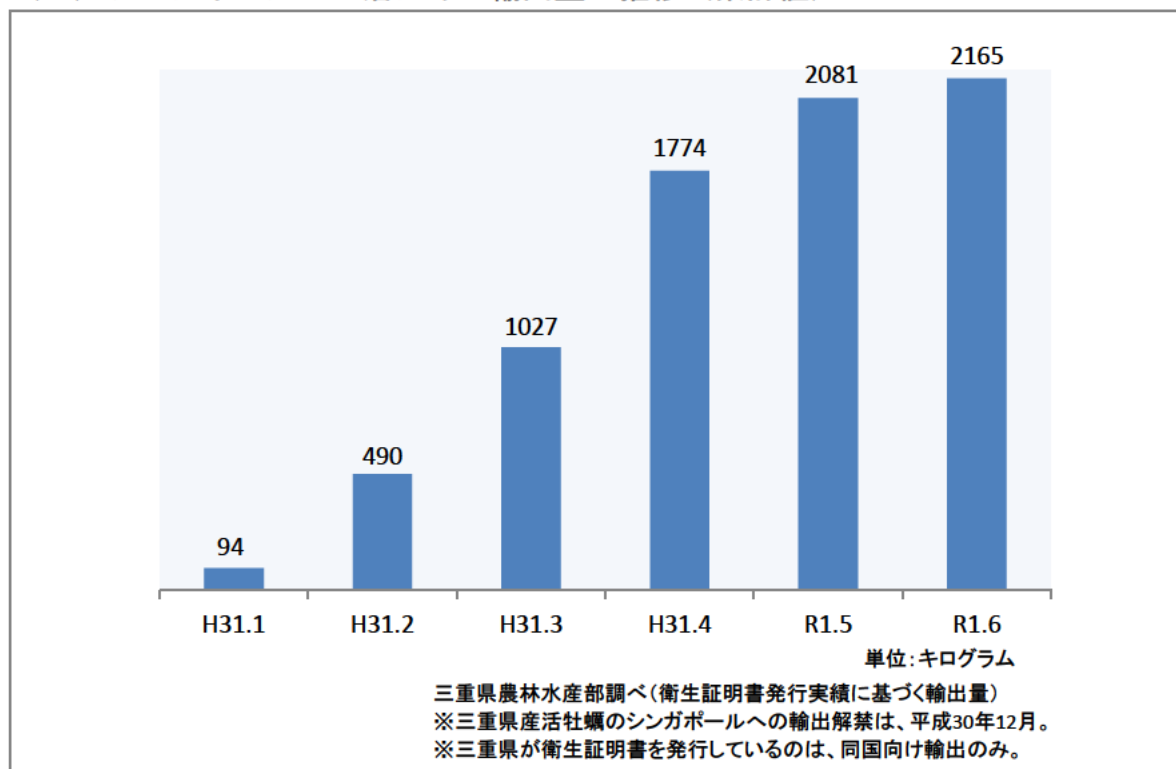
(3) 柑橘の輸出量の推移



輸出先 (H22以降、輸出量順):

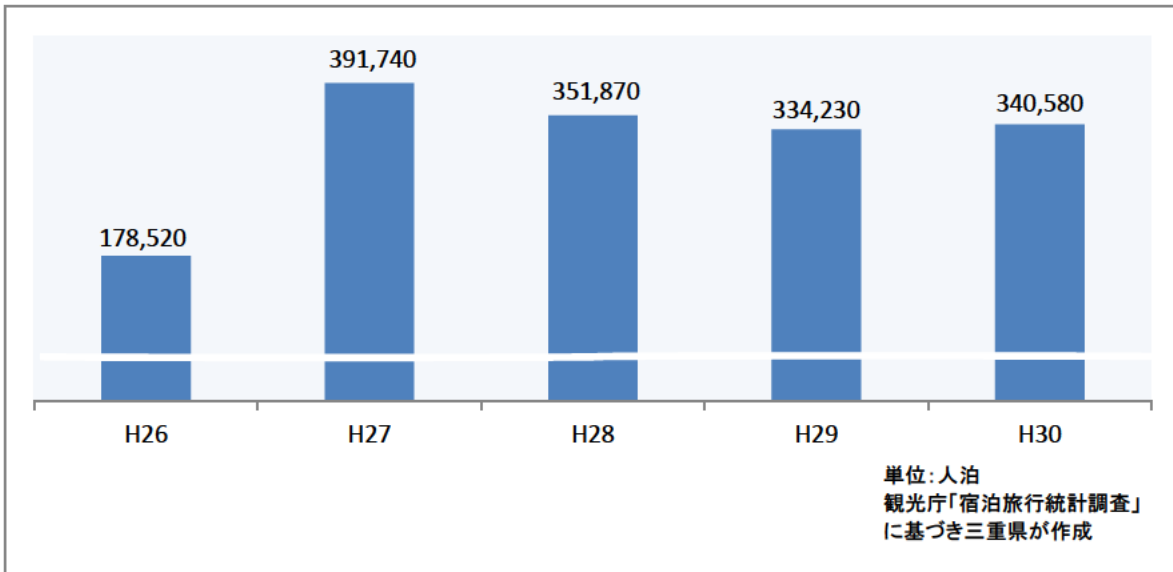
タイ (H22~)、香港 (H24~)、台湾 (H26~)

(4) シンガポールへの活カキの輸出量の推移 (累計値)

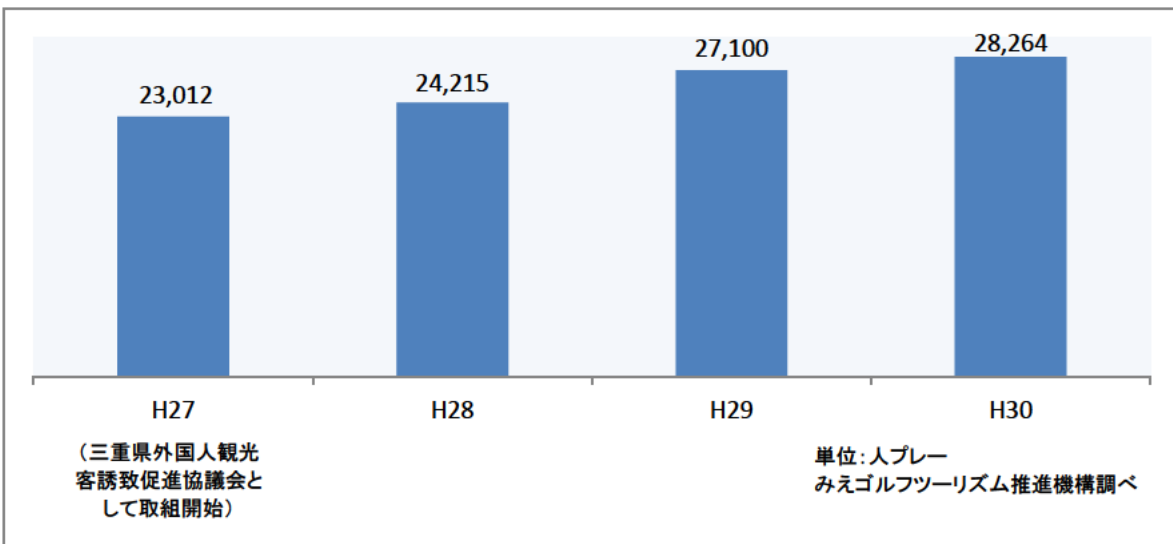


2 インバウンド

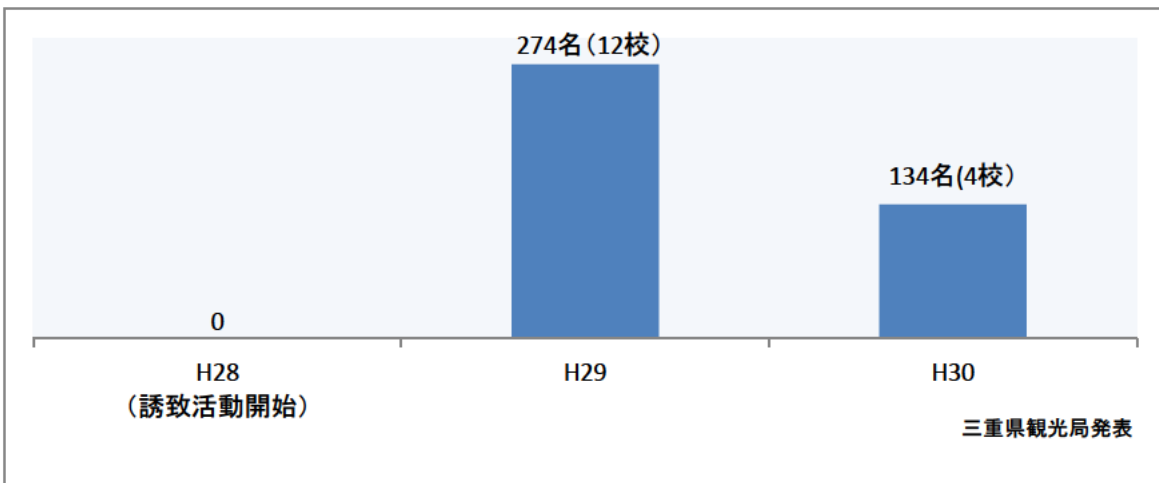
(1) 三重県の外国人延べ宿泊者数の推移



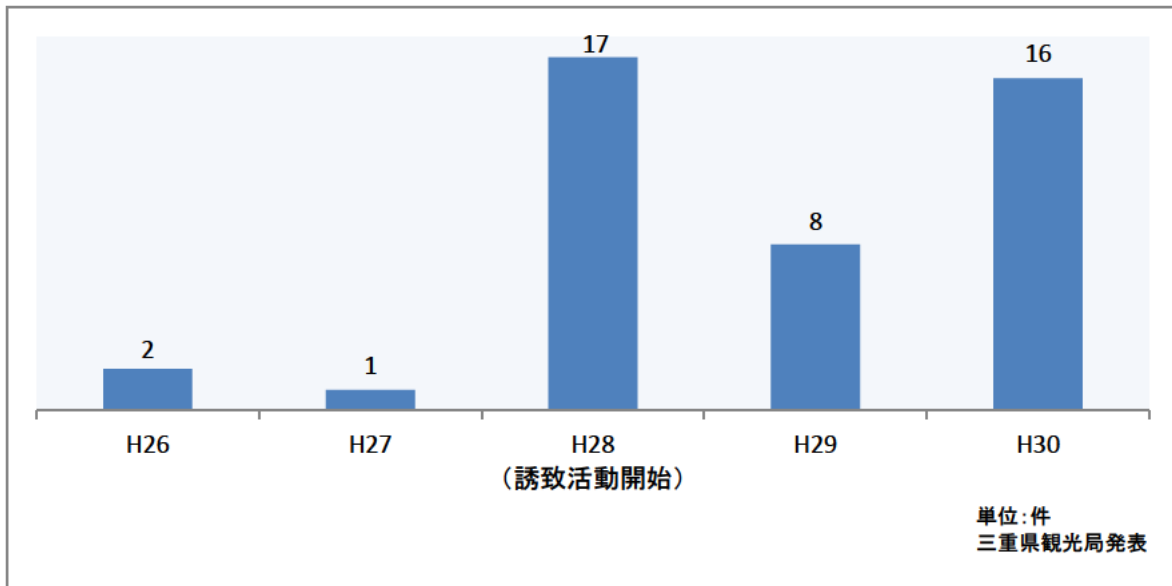
(2) ゴルフインバウンド入込客数の推移



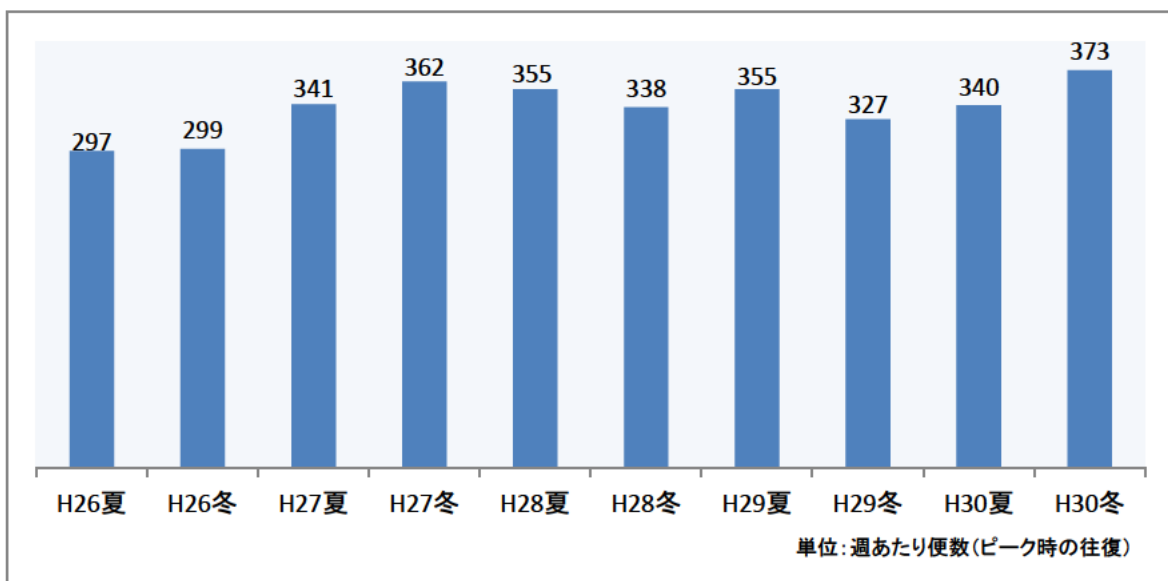
(3) 台湾からの教育旅行受入れ数の推移 (県関与分)



(4) 国際会議開催実績



(5) 中部国際空港発着国際線便数



3 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致等

(1) 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致の状況

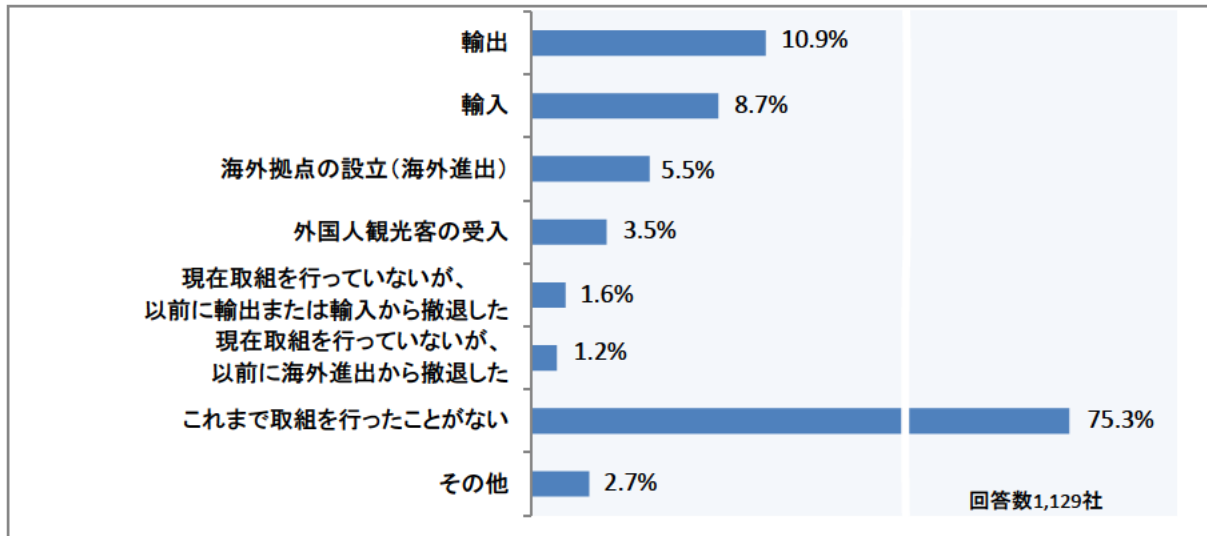
	市町名 (誘致 主体)	競技 (国名)	施設	状況
1	四日市市	体操競技 (カナダ)	四日市市中央 緑地新体育館 (仮称)	・平成28年10月31日、カナダ体操協会と協定締結。 ・平成31年3月31日から4月4日まで、1年前キャンプを実施。
2	三重県	アーティスティック スイミング (カナダ)	県営鈴鹿スポ ーツガーデン	・平成30年3月下旬、カナダシンクロ連盟(現:カナダアーティスティックスイミング連盟)と合意。 ・平成30年9月26日、協定締結。 ・平成31年4月14日から25日まで、1年前キャンプを実施。
3	三重県 ・津市	レスリング (カナダ)	津市産業・スポ ーツセンター (サオリーナ、 三重武道館)	・平成30年11月29日、カナダレスリング協会と合意。 ・平成30年12月11日、協定締結。 ・令和元年5月17日、カナダレスリングチーム三重県・津市事前 キャンプ実行委員会を設立。
4	三重県	パラリンピック 競泳(英国)	県営鈴鹿スポ ーツガーデン	・平成30年11月、英国パラスイミングチームと合意。 ・平成31年2月25日、協定締結。
5	伊勢市	パラリンピック 陸上(ラオス)	県営総合競技 場(伊勢市)	・令和元年6月6日、ラオスパラリンピック委員会と協定締結。
6	志摩市	トライアスロン (スペイン)	調整中	・令和元年6月17日、事前キャンプ地に内定。正式決定に向けて 調整中。

(2) ホストタウン登録状況

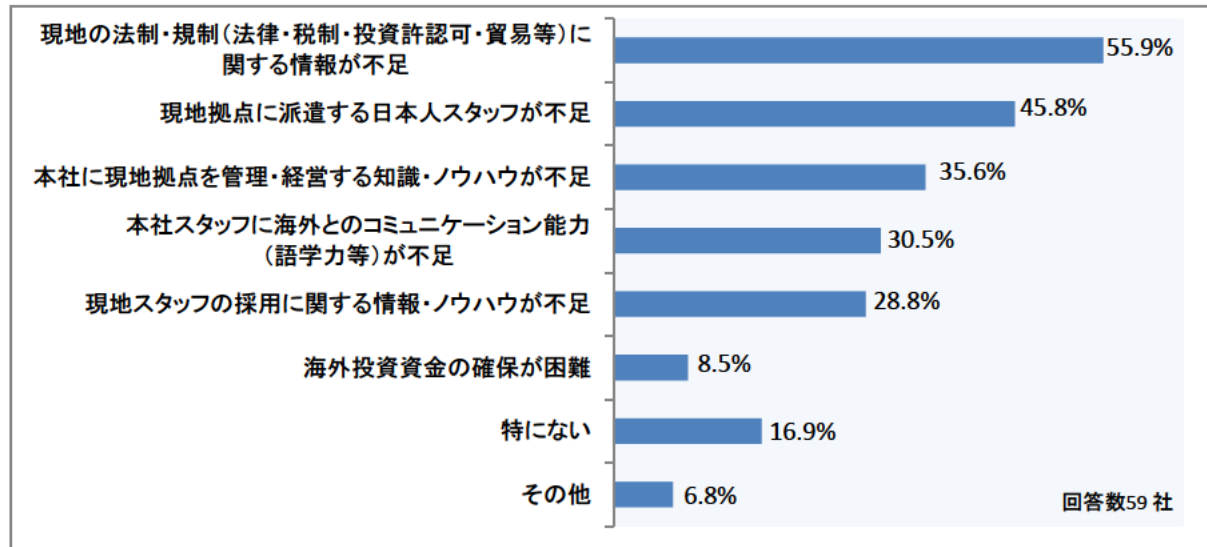
	登録時期	登録団体	相手国 ・地域	備考
1	第四次登録 (H29. 7. 7)	四日市市	カナダ	
2	第九次登録 (H30. 8.31)	熊野市	台湾	
3	第十二次登録 (H31. 2.28)	三重県・津市	カナダ	
4	第十一次登録 (H30.12.28) 第十三次登録 (H31. 4.26)	三重県・鈴鹿市	カナダ、 英国	カナダを相手国とした登録に英国を追加 (変更登録)
5	第十四次登録 (R1. 6.28)	伊勢市	ラオス	
6	第十四次登録 (R1. 6.28)	志摩市	スペイン	

4 産業実態に関するアンケート結果（県内企業のみ抽出）（令和元年7月発表、三重県雇用経済部）

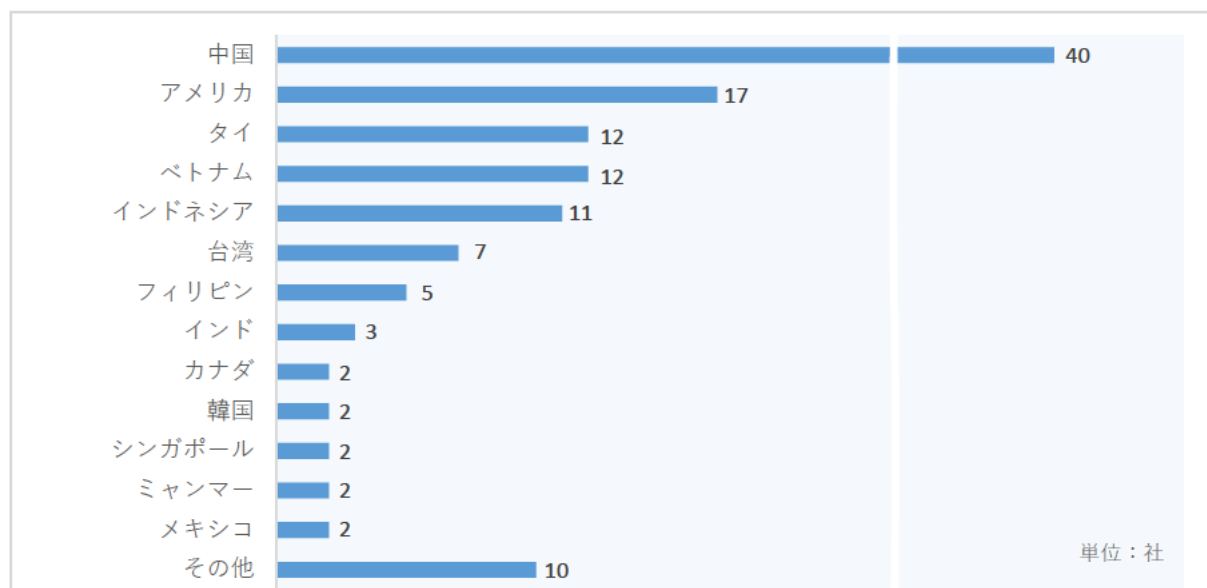
（1）現在行っている海外展開の取組



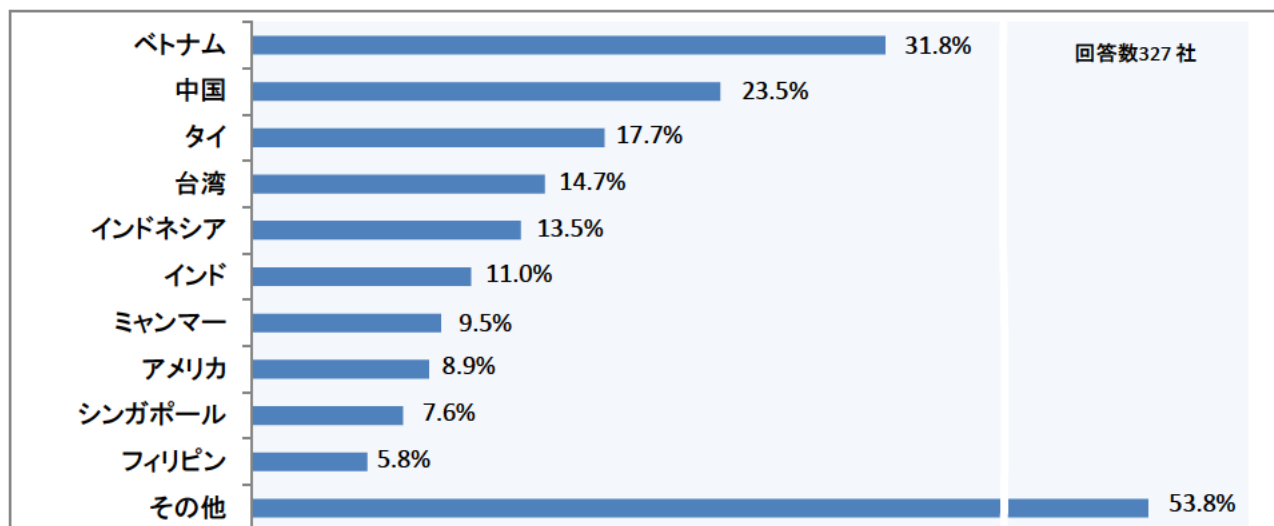
（2）海外進出の際に障壁となったこと



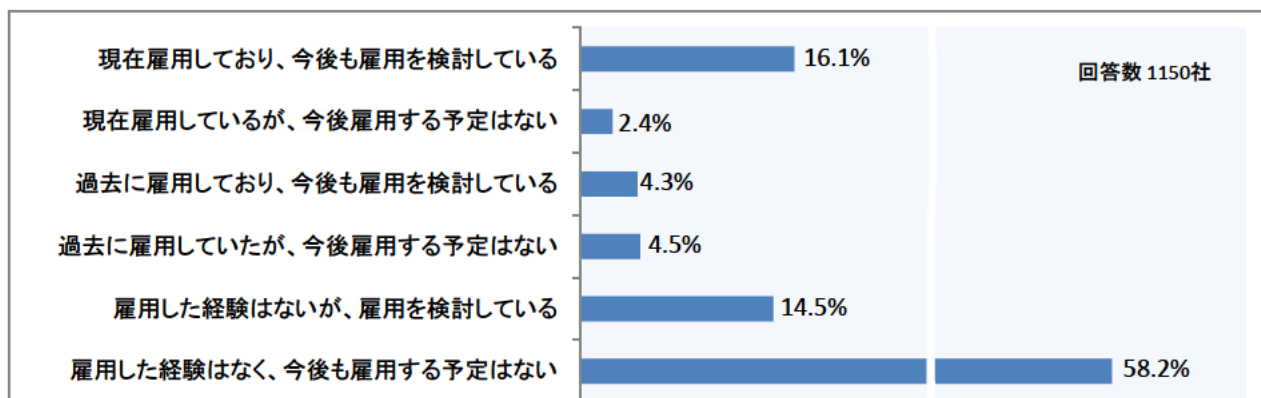
（3）主な海外進出先



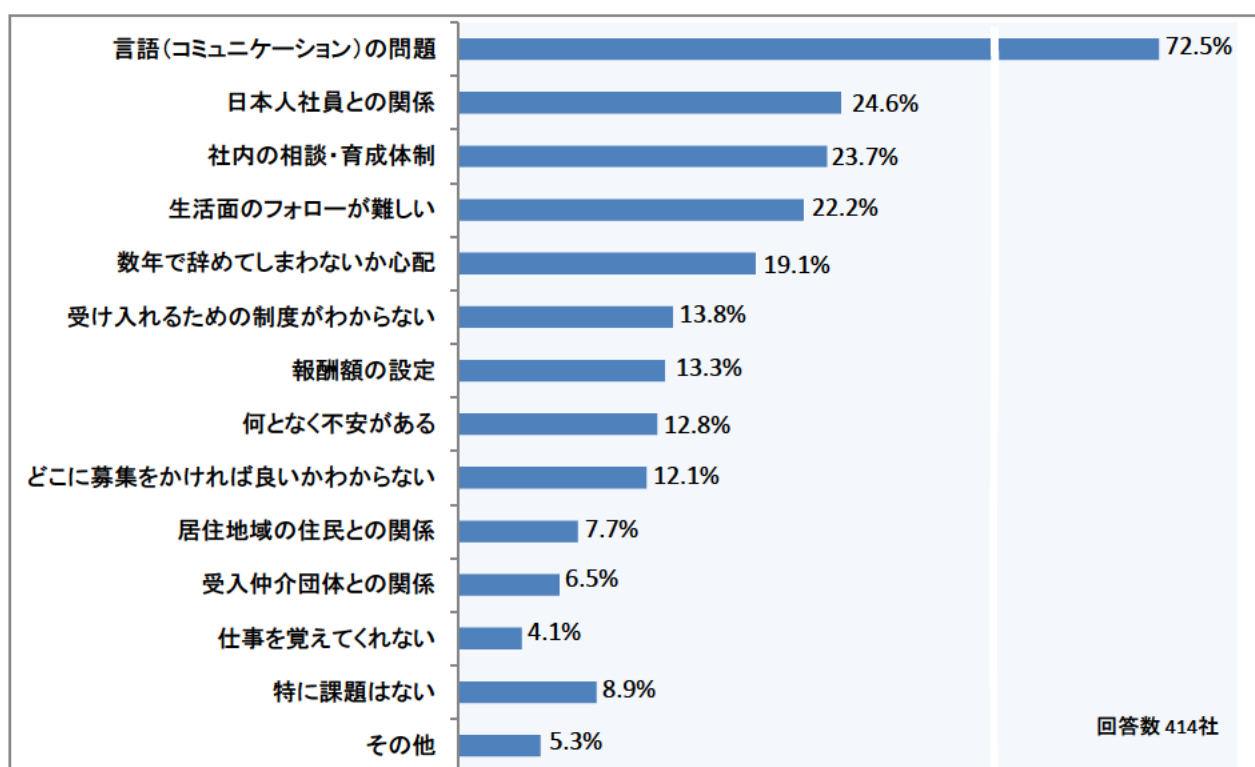
(4) 今後の海外展開（輸出、輸入、海外拠点の設立）先として興味のある国・地域



(5) 外国人の雇用状況と今後の雇用の検討状況

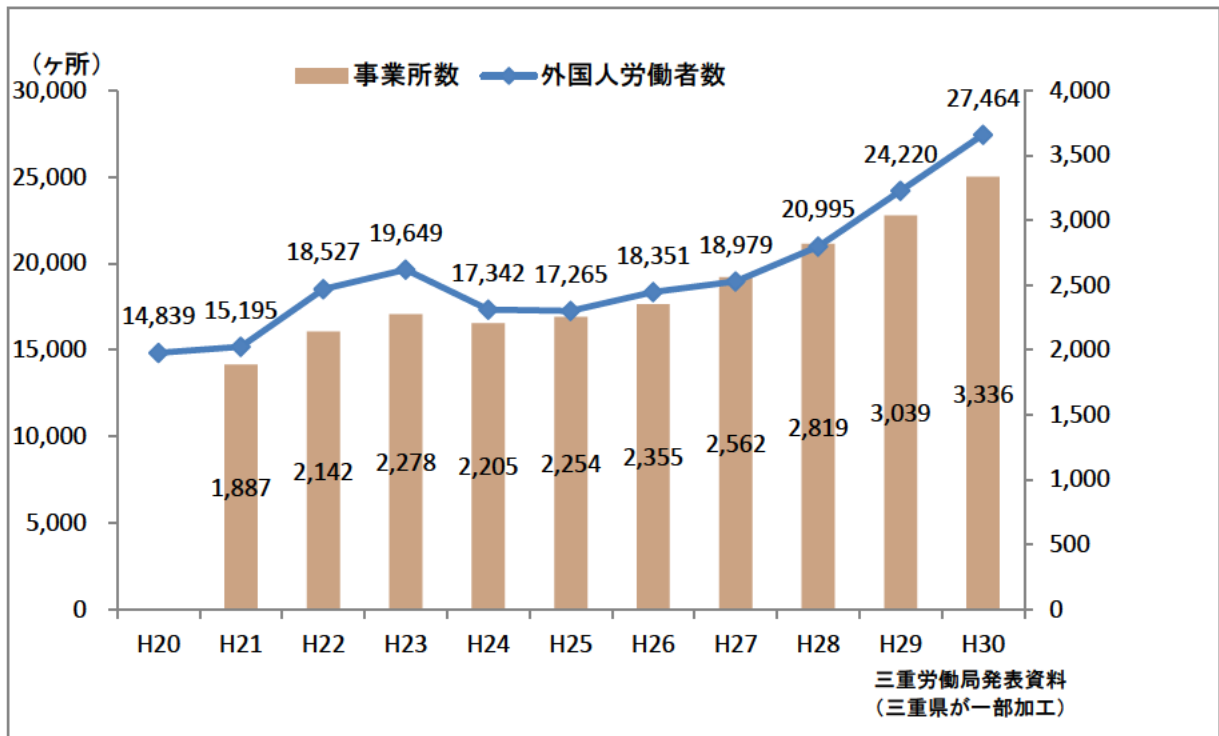


(6) 外国人を雇用するにあたっての課題

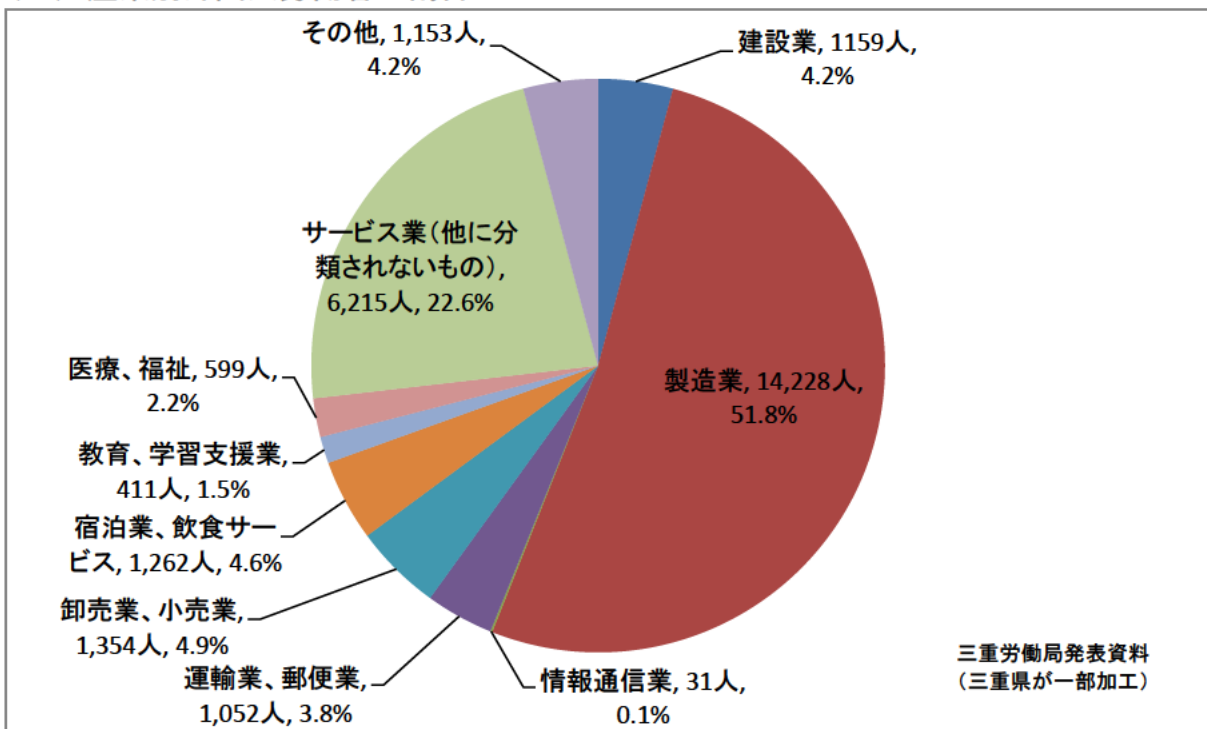


5 三重県の「外国人雇用状況」の届出状況（平成31年1月発表、厚生労働省三重労働局）

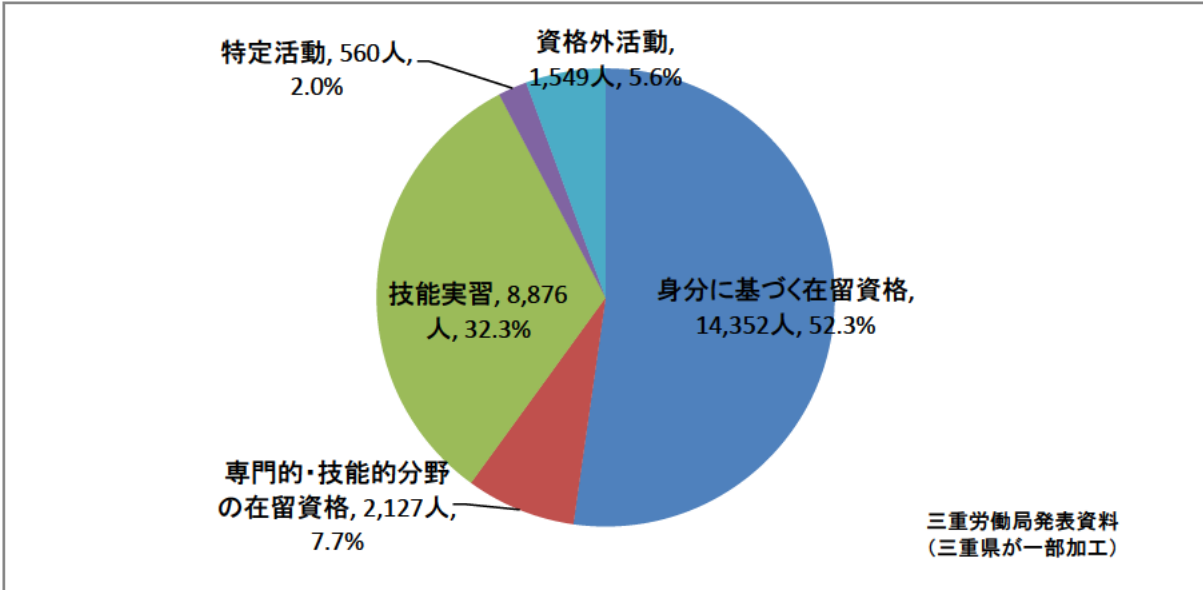
（1）外国人雇用事業所数と外国人労働者数の推移



（2）産業別外国人労働者の割合



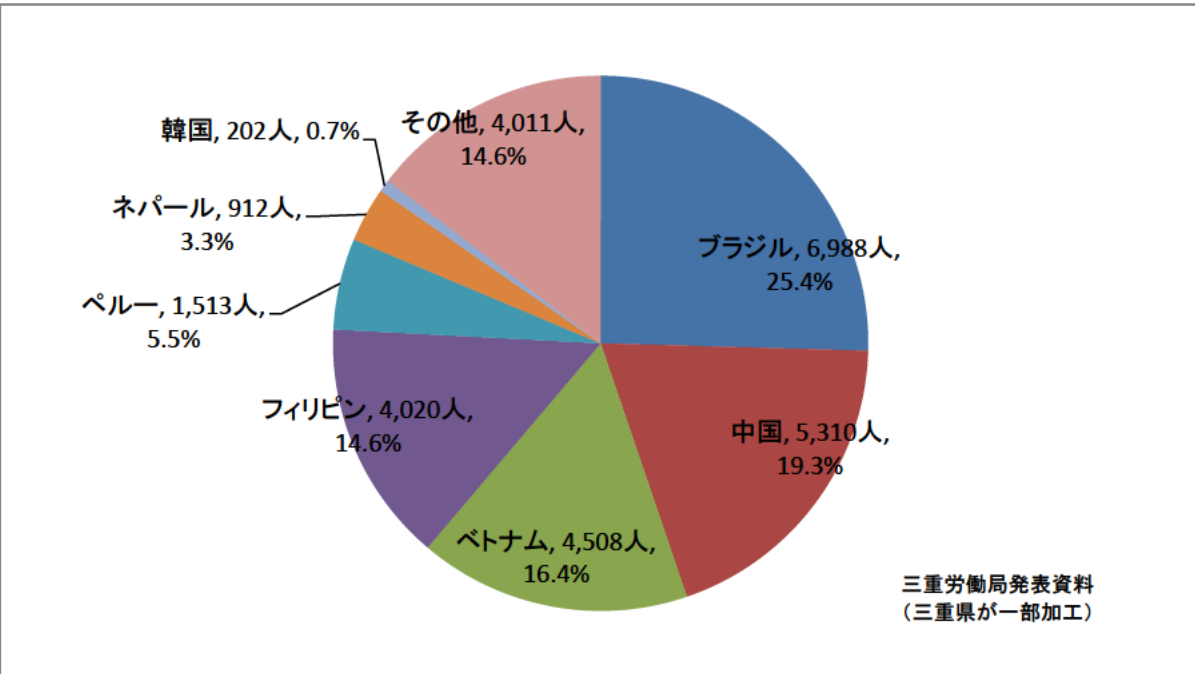
(3) 在留資格別外国人労働者数の割合



※「身分に基づく在留資格」には、「永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」、「定住者」が該当する。

※「専門的・技術的分野の在留資格」には、「教授」、「芸術」、「宗教」、「報道」、「高度専門職1号」、「高度専門職2号」、「経営・管理」、「法律・会計業務」、「医療」、「研究」、「教育」、「技術・人文知識・国際業務」、「企業内転勤」、「介護」、「興業」、「技能」が該当する。

(4) 国籍別外国人労働者の割合



新たな多文化共生社会づくりに向けた総合的な取組

6月補正後予算額 183,418千円
(令和元年度当初予算額 173,523千円)

これまでの取組	三重県多文化共生社会づくり指針(めざす姿) 「文化的背景の異なる住民が、地域社会と一緒に築いています」「地域の課題解決に、文化的背景の異なる人びとの共生から生まれる活力が生かされています」	外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応を促進するための憲章 東海三県一市の経済団体、企業等と行政との連携により適正雇用と適応を促進	県市町多文化共生WG 県内市町と県との情報共有・課題検討	多文化共生推進会議・外国人住民会議 県内外国人住民や多様な主体からの意見を県の取組に反映
----------------	---	---	---------------------------------	---

入管法の改正を契機とした取組 → 市町や国等関係機関と相互に緊密な連携をとりつつ、県民、外国人支援団体、企業等とともに、県全体で多文化共生社会の実現をめざします。 → 三重県多文化共生社会づくり指針の改定に反映

令和元年度の主な事業

1 生活支援【114,500千円】

- ◆(一部新)外国人住民の安全で安心な生活への支援事業<環境生活部>
 - ・外国人住民からのさまざまな相談をワンストップで受け付ける窓口を整備
 - ・医療通訳の人材育成、災害時の支援を行う人材の育成
- ◆防災情報プラットフォーム事業<防災対策部>
 - ・「防災みえ.jp」において、英語、ポルトガル語、中国語、韓国・朝鮮語およびスペイン語により防災情報を提供
- ◆外国人住民に対する情報や学習機会の提供事業<環境生活部>
 - ・県多言語ホームページで提供する行政情報・生活情報の充実
 - ・国際交流員による「やさしい日本語」の普及啓発
- ◆多文化共生がもつ力の活用事業<環境生活部>
 - ・三重県多文化共生社会づくり指針の改定
- ◆安心住まい支援事業<県土整備部>
 - ・住宅確保要配慮者に対する民間賃貸住宅への入居支援
- ◆児童虐待法的対応推進事業<子ども・福祉部>
 - ・通訳者の派遣等による外国人住民の児童相談体制の整備



2 就労支援【18,527千円】

- ◆(新)外国人材受入支援事業<雇用経済部>
 - ・外国人雇用に向けた事業者の受入態勢整備を支援
 - ・県内企業の外国人材の採用に関するニーズと課題を調査
- ◆(新)外国人留学生等就職サポート事業<雇用経済部>
 - ・留学生等の外国人材を対象にインターンシップなどを実施
- ◆公共職業訓練費(一部)<雇用経済部>
 - ・津高等技術学校における職業訓練講座の開催
- ◆労働相談室運営事業<雇用経済部>
 - ・三重県労働相談室においてポルトガル語・スペイン語での相談対応
- ◆外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業<医療保健部>
 - ・外国人介護福祉士候補者の日本語学習支援等を実施
- ◆看護職員確保対策事業(外国人看護師候補者就労研修支援事業)
 - ・外国人看護師候補者の日本語学習支援等を実施 <医療保健部>

<国と県の連携体制>

外国人労働者雇用等に関する国・県連絡会議

- ・三重労働局および県の関係課で構成する会議を設置(平成31年1月)
- ・情報共有および課題解決のための方策を検討



3 子どもの教育【50,391千円】

- 【小学校・中学校】**
- ◆多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業<教育委員会>
 - ・市町における外国人児童生徒の受入れや日本語指導等にかかる取組への支援を拡充
 - ・外国人児童生徒巡回相談員を1名増員(12名→13名)し、学校における適応指導や学習支援を実施
- 【高等学校】**
- ◆(一部新)未来へつなぐキャリア教育推進事業(外国人生徒キャリアサポート事業)<教育委員会>
 - ・外国人生徒キャリアサポーターの配置
 - ・日本での就職等にかかるセミナーの実施
 - ・企業見学会の実施 ・通訳用タブレットを県立高等学校2校で活用

- 【特別支援学校】**
- ◆(一部新)早期からの一貫した教育支援体制整備事業(特別支援学校外国人児童生徒の学校生活充実事業)<教育委員会>
 - ・通訳等を行う外国人児童生徒支援員を派遣
- 【私立外国人学校】**
- ◆私立外国人学校振興補助金<環境生活部>
 - ・私立外国人学校を設置・運営する学校法人への助成
- 【プレスクール】**
- ◆外国につながる子どもたち支援事業<環境生活部>
 - ・就学前支援教室の立ち上げに必要な人材や教材等の作成

<市町および庁内の連携体制>

県市町多文化共生WG	庁内調整会議
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、WGにおいて情報共有、課題検討 ・参画する市町を拡充するための働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係課で構成する会議を設置(平成31年1月) ・課題解決のための方策を検討

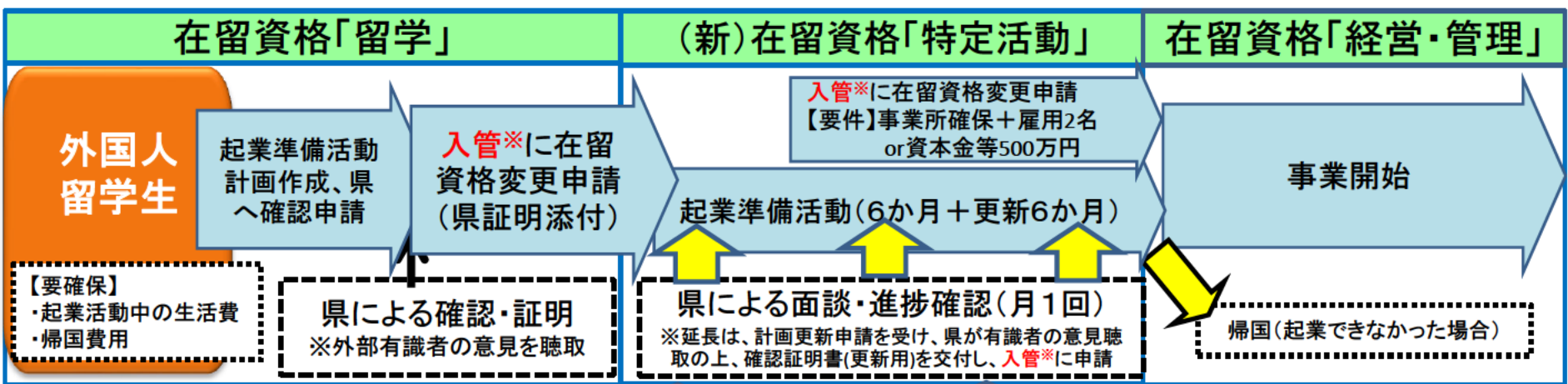
三重県外国人起業活動促進事業 ～新たな在留資格を活用した留学生起業支援～

三重県・大学・支援機関等が連携のうえ、留学生による起業準備活動のための在留資格取得や、起業活動を支援し、三重県における起業を促進

【現行】在留資格「経営・管理」

- ・事業所の確保
- ・常勤2人以上雇用 or 資本金額または出資総額が500万円以上

【新設】在留資格「特定活動」(起業準備活動)
 国が認定した地方公共団体により管理・支援される外国人について、在留資格を認める(最大1年間)



※「管轄する地方出入国在留管理局」の略称

【関係機関が連携した支援】 起業準備活動計画策定支援 生活支援 起業支援 資金計画策定支援

【大学】

- ・起業準備活動計画策定支援
- ・生活支援、起業支援

対象:三重大、四日市大学、鈴鹿大学の大学・大学院の卒業・修了見込の者

【創業支援機関】
 (三重県産業支援センター、日本政策金融公庫、三重県信用保証協会等)

- ・起業準備活動計画策定支援
- ・起業支援
- ・資金計画策定支援

【三重県】

- ・起業準備活動計画の審査、証明
- ・生活支援、起業支援
- ・起業活動中の進捗確認、面談
- ・延長時の確認、確認証明書交付
- ・外国人起業活動管理支援計画策定

【経済産業省】

- ・外国人起業活動管理支援計画の認定

計画策定 → 計画認定

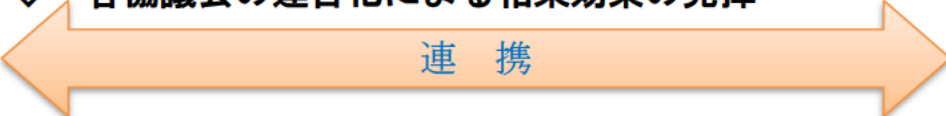
三重県の国際展開推進体制

三重県雇用経済部

- ◇ 県内企業等の海外展開（投資・輸出）、海外誘客、外資系企業誘致等国際展開を推進するため、産学官金一体となった国際展開プラットフォームを構築
- ◇ 各協議会の連合化による相乗効果の発揮

三重県外国人観光客誘致促進協議会
 平成16年8月設立
 地域と連携した海外誘客活動、受入体制の充実
 (会長: 県観光連盟会長)
 【事務局: 海外誘客課】

みえ医療・健康・福祉産業国際交流推進会議
 平成15年10月設立
 県内企業の海外事業展開、販路開拓、産学官連携によるミッション団派遣・受入等の支援
 (会長: 県薬事工業会会長)
 【事務局: ライフイノベーション課】



みえ国際展開推進連合協議会

- ・各協議会の主要メンバーによる構成(会長: 三重県知事)
- ・年1~2回程度開催
- ・平成26年8月設立
- ・各協議会における活動状況等の情報共有
- ・中期戦略(「みえ国際展開に関する基本方針」等)の協議等
 【事務局: 国際戦略課】

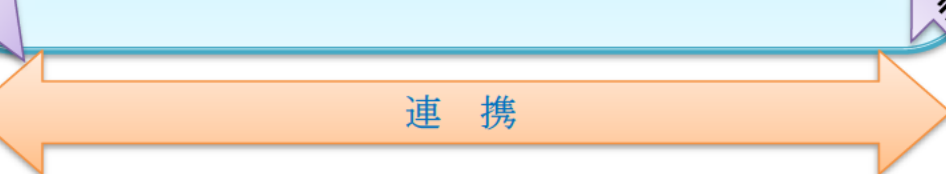
三重県外資系企業誘致推進会議
 【事務局: 企業誘致推進課】

グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会
 【担当: 企業誘致推進課】



三重県農林水産物・食品輸出促進協議会
 平成26年3月設立
 海外への販路開拓(物産展開催、展示会出展、パイヤー招へい等)、品目別部会の設置
 (会長: 県雇用経済部長)
 【事務局: 中小企業・サービス産業振興課】

三重県企業国際展開推進協議会
 平成26年6月設立
 県内企業の海外事業展開を支援、個別部会(国・地域別、分野別)の設置
 (会長: 県中小企業団体中央会会長)
 【事務局: 国際戦略課・産業支援センター】



三重県国際展開支援窓口
 【総合窓口: 産業支援センター、JETRO】



支援

【支援組織】
 三重大学 (RASC)、AMIC、JETRO、ICETT、金融機関、商社等

支援



第1章 世界経済の状況と三重県における国際展開の現状

1. 拡大する世界経済

- ・国内需要の減退 ⇒ G7からG20、アジアなど新興国市場の拡大
- ・英国のEU離脱や米国トランプ政権の誕生等の一方で、国家間・地域間の連携の加速 ⇒ TPP協定、日欧EPA等

2. 三重県の国際展開の現状と課題

- ・拡大する世界経済や国内の取引構造の変化を見据え、取組が遅れる県内企業の国際展開を推進する必要。
- ・本格的な少子高齢化や人口減少を迎え、海外からの誘客は地方創生の観点からも重要。
- ・サミットの開催による知名度等向上と東京リハビリ、パリリハビリ等の今後の好機を生かした取組が必要。

世界経済の状況と三重県の国際展開の現状と課題を
ふまえた国際展開の推進

第2章 国際展開に係る三重県のポテンシャル

1. 三重県の持つ多様な海外ネットワーク

- 県のネットワーク
 - (台湾) 台日産業連携推進オフィス、高雄市、台中市
 - (中国) 河南省 (香港) 香港貿易発展局
 - (タイ) 投資委員会、工業省
 - (アメリカ) ワシントン州、テキサス州サンアントニオ市
 - (インド) カルナータカ州 (フランス) ヴァルトワース県
 - (ブラジル) サンパウロ州 等
- 市町のネットワーク
 - (中国) 天津市、江蘇省鎮江市、無錫市濱湖区
 - (ベトナム) 外国投資省、ハイフォン市
 - (アメリカ) ロングビーチ市、サンタバーバラ市、キャマス市
 - (カナダ) プリンズルパート市 (フランス) ルマン市
 - (ブラジル) サンパウロ州バスタス市・オザスコ市 等

2. ファシリテーターとして活用可能な組織

- ・三重大学地域戦略センター(RASC)
- ・(公財) 国際環境技術移転センター(ICETT)
- ・(公財) 三重県産業支援センター(MIESC)
- ・高度部材イノベーションセンター(AMIC)
- ・(独) 日本貿易振興機構(ジェトロ) 三重貿易情報センター
- ・三重県国際展開支援窓口

3. 世界に誇る産業集積と環境改善の取組、試作ものづくりの能力

- ・自動車関連、電子デバイス、石油化学分野企業が集積
- ・外資系企業が立地
- ・四日市公害を契機に官民でまちづくりに取り組んだ実績
- ・試作グループ等による高付加価値のものづくり

4. 世界に知られる観光資源

- ・伊勢神宮、忍者、真珠、海女など世界的に魅力ある資源
- ・世界遺産熊野古道伊勢路、ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」等

5. 三重の食文化と食材

- ・松阪牛・伊勢えび・南紀みかん等三重ブランド認定品、マグロ・マダイ・ブリ等養殖魚、伊勢うどん等郷土料理

三重県のポテンシャルを最大限に生かした
国際展開の推進

第3章 国際展開に対する今後の取組の方向性

1. 基本的な考え方

- 国際的に開かれた三重県文化の形成
- 三重モデル(台湾との連携モデル)
- 相手国・地域のメリットにもなる「Win-Win」の関係構築の横展開
- サミット開催による知名度等向上、東京リハラ等の好機を生かした継続的・長期的取組、グローバル人材の育成、対日直接投資(外資系企業誘致)の促進

2. 重点的に取り組むべき国・地域と、国・地域ごとの重点分野

(1) アジア経済圏(ASEANを除く)

- 華人経済圏への県産品販路拡大、誘客など
- 台湾
 - ・中南部へのネットワーク拡大、誘客、大中華圏への共同販路開拓、県産品の販路拡大(県産ブランド牛)
- 中国
 - ・三重県国際展開支援窓口を通じた現地規制対応、ICETTと連携した環境技術の展開、県産品の販路拡大、誘客

○香港

- ・県産品の販路拡大、誘客

○韓国

- ・ビジネス交流の検討

○インド

- ・カルナータカ州との産業連携の推進

3. 国際展開のためのプラットフォーム

(1) 国際展開の推進体制と支援体制

- 推進体制
 - ・みえ国際展開推進連合協議会
 - ・三重県外国人観光客誘致促進協議会
 - ・三重県農林水産物・食品輸出促進協議会
 - ・みえ医療・健康・福祉産業国際交流推進会議
 - ・三重県企業国際展開推進協議会
- 支援体制
 - ・三重県国際展開支援窓口の設置

(2) 国際展開における取組方針

- (1) 三重県企業の国際展開(直接投資、輸出)に対する支援
 - ・三重県国際展開支援窓口の設置と、同窓口を通じた支援
 - ・ICETTを活用した環境技術の展開
 - ・県産農林水産物・食品の輸出促進

(2) 外資系企業の誘致に対する支援

- ・外資系企業の生産拠点・研究開発拠点の誘致
- ・高級ホテル等外資サービス業の誘致
- ・ワンストップサービス窓口の設置

(2) ASEAN

- ・発展する域内市場での産業連携、誘客、県産品販路拡大など

○タイ

- ・投資委員会及び工業省との産業連携、ICETTと連携した環境技術の展開

○ベトナム

- ・誘客、県産品の販路拡大
- ・人材育成、ICETTと連携した環境技術の展開、誘客、県産品の販路拡大

(3) 北米・ヨーロッパ

- ・航空宇宙等成長産業での連携、知的交流、企業誘致、県産品販路拡大、誘客など

○米国

- ・航空宇宙分野等での連携、グローバルな産業人材育成、対日投資促進

○カナダ

- ・事前キャンプ地誘致
- ・航空宇宙分野での連携

○ヨーロッパ

- ・知的交流の推進、航空宇宙分野等での連携
- ・県産品の販路拡大
- ・医療人材育成
- ・誘客、事前キャンプ地誘致

(4) 友好提携都市等

- フランス
 - ・友好関係を生かした経済交流の検討

(2) 国際展開ネットワークの構築及び深化

- ・既存のネットワークの強化と市町の海外ネットワークの活用
- ・産業連携の各MOU等を活用した大学間、企業間の交流促進

(3) 人材育成・啓発

- ・グローバル人材の育成・確保
- ・(留学生マッチング、商社退職人材や高度外国人材、外国人技能実習生の活用等)
- ・国際展開に関する成功例の県内中小企業への紹介
- ・次世代育成

(3) 海外からの誘客促進

- ・産業、物産との連携による三重県の魅力発信
- ・欧米や富裕層の誘致、ゴルフツーリズムの推進
- ・個人客(FIT)化に対応したSNSによる情報発信、広域連携での誘客
- ・MICE誘致、日本版DMOとの連携、クルーズ客の誘客
- ・観光コンテンツの磨き上げ(体験、エコツーリズムの推進、ガイド育成等)

(4) 様々な分野の取組

- ・ライフイノベーション分野における海外連携の推進
- ・医療分野における連携(高度人材の確保・育成等)
- ・国際展開を通じた食関連産業のステージアップ(高付加価値化)
- ・スポーツを通じた海外との交流の促進